

(仮称) 新西図書館基本計画 ー概要版ー

1. 現在の西図書館

- ・延床面積 703 m² (区民千人あたりの面積比較では市内最小)
- ・貸出人数、冊数とも地域図書館で2番目
- ・施設規模が小さいため、短時間での利用が多い

2. 市民ニーズ

把握方法 市民満足度調査、来館者と地域住民へのアンケート調査

- ・本が少ない、専門書がほしい
- ・ゆっくり本を読む場所が無い
- ・窓口が混んでいて利用しにくい等

3. (仮称) 新西図書館整備検討会の意見

- (1) 西図書館に求められる機能について
 - ・少し間口を下げ、気軽に立ち寄れるような図書館に
 - ・世代を越えて集え、本があり、楽しめる場所が求められている
- (2) ホールとの連携について
 - ・ホールと図書館で自然な人の流れを作れば大きな付加価値になる。相互補完ができればユニーク
- (3) 空間デザイン、ゾーニングについて
 - ・快適で優れた空間デザインで、住民が図書館を自慢に思えるように
- (4) コンセプト、基本方針等について
 - ・中高生にとって豊かな社会経験を得る場所であってほしい
 - ・子育て世代も大切にしてほしい

4. 再整備にあたって必要な視点

- (1) 高い読書意欲への対応 …絵本から専門書まで広い範囲での蔵書の拡充
- (2) 読書環境の改善 …一定の規模を持ち、質の良い読書空間であること
- (3) 青少年や子育て世代の利用 …足を向けやすい使いやすい場所になるための設備、サービスを検討
- (4) 集う場所としての機能 …本を通して人が集まり、時には共に学ぶ場所となる設備を持つこと
- (5) 窓口の混雑緩和 …カウンターで利用者を長く待たせない仕組みを導入

5. コンセプト・基本方針等

新しい出会い、新しい発見がある、本の「広場」

- (1) 市民の暮らしと、生涯にわたっての学びを支える図書館
- (2) 青少年や子育て世代が利用しやすい図書館
- (3) 集い、共に学び、地域をつなぐ図書館
- (4) 西区の歴史や文化、魅力を伝える図書館
- (5) 文化・芸術を身近に感じられる図書館



6. 必要な規模・機能

- 神戸市西部地域の魅力ある拠点図書館として、面積は約 3,000 m²、蔵書冊数は約 30 万冊
- ・多様な目的をかなえる多種の座席 (読書専用席、学習席、グループ学習席、公衆無線 LAN 利用席)
 - ・セミナー室 (大・小)
 - ・書庫
 - ・飲食が可能な交流エリア (飲食スペース、イベントスペース)
 - ・独立した「お話の部屋」、「親子の読み聞かせコーナー」
 - ・授乳室、こどもトイレ、多機能トイレ
 - ・自動返却機、予約図書セルフ受取りコーナー等自動化装置

7. 今後の予定

- ・開発・設計・建築工事の全てを行う民間事業者を、今後、公募予定
- ・公募に際し、事業者は、本計画に基づいた提案を行う